

みつけたみよしの
はつらっさん



「体を動かさなきゃね」

下野 キクエさん (中島)

70歳直前まで企業の食堂で働いていた下野さんは、「体が動くうちは動かさなきゃね」と今も元気はつらつ。11月には、鹿児島にいるひ孫の七五三祝いに飛行機で駆けつけ、周りの友達をびっくりさせたといいます。

「みんなでゲームなどをして一日があつとごう間です」と週2回福祉センターのデイサービスへ行くのをとても楽しみにしています。また若いころからの趣味で教室にも通っていた編み物は、町の産業フェスタのバザーへ出品するほどの腕前。毛糸や布切れなどを使って人形やテーブルクロス、ほかにもたくさんさんの作品を作っています。健康の秘けつは「自己流ですが腕の上げ下ろしなど毎日体操をしています。なんでもよく食べて体を動かすことが大事な」とのこと。

これからも元気に体を動かして活動してください。

▶▶▶プロフィール

しもの・きくえ 大正11年生まれ。趣味は華道や茶道、写真、紙テープを使ったバッグ作りなど。たくさんの花や野菜を自宅で丹精込めて育てている。



みよしっ子
女子ソフトテニス部

三好中学校

女子ソフトテニス部

今回は三好中学校の女子ソフトテニス部を紹介します。顧問の菱田有加利先生とキャプテンの藤目さくらさんに話を伺いました。



1・2年生27人で活動する女子ソフトテニス部。元気に声を掛け合いながら白球を追い掛けています。目標は団体戦での西三河大会出場。部員全員で基礎体力の向上やサーブ、レシーブなどの基本練習に励んでいます。

「テニスが好きで、明るく元気な子が集まった部。自分から声を出してみんなが気持ちよくプレーできるようなムードづくりを心掛けています」と藤目さんは話します。

「あいさつや礼儀、道具を大切にすることを大切に、どんなことにも一生懸命に向かっているってほしいです。部活動を通してみんながその気持ちを持ってくれたら」と菱田先生は温かく見守ります。

来年夏の大会に向けて、藤目さんは「粘り強く、部員全員で一丸となって勝ち抜いていけるチームづくりをしていきます」と力強く抱負を語ります。



お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとう
お誕生日
12月



「強いつから泣かないよー」
強くて元気いっぱいのゆうとくん。
友達とけんかしても、転んでけがをしても泣かないよ。歌うのが大好きで「お弁当」の歌が最近のマイブーム。妹の柚菜ちゃんの面倒をみれるようになったゆうとくんに「素直な子に育ってほしいな」とお母さん。

井口 悠斗くん(新屋)
父・亮介さん 母・恭子さん
平成16年12月27日生

出場者募集

【2月のお誕生日コーナー】
▼応募期間 1月4日から8日まで(土・日曜日を除く)
▼対象 2月生まれで3歳未満の児
▼応募方法 秘書広報課へ電話 ☎(32)83357
※12月生まれの応募は、12人でした。



「体を動かすのが大好き」
体操教室へ行ったり、毎日公園で遊んだりして元気いっぱいのあきちゃん。大輔お兄ちゃんが大好きでいつも一緒なんだよ。自分で靴を脱いできちゃんとそろえることができるあきちゃんに「人に優しく、いつまでもお兄ちゃんと仲良しでいてね」とお母さん。

伊藤 亜希ちゃん(三好下)
父・昌広さん 母・美希さん
平成16年12月28日生



Miyoshi no Bungei

俳句

カンテラの燈火親しや秘境の湯
堀越 弘蔵
たゆみなき庭師の鉄秋の空
太田 芙美子
何嬉し跳んではねる子秋の空
山田 年子
秋の空富士くつきりと旅二日
渡辺 信子

短歌

主の在さぬ屋の窓放ち木犀の香を臭ぎませとい
大島 岡子
らえなけれど
大田 春子
観音の慈悲は甘露の法雨なり疑わず念じ日々を
岡本 君子
過せり
放映の三好まつりの輪の中の吾が息子捜して瞳
を凝らす

狂俳

晩秋
野は哀愁の彩兆す
塚本 湖村
生え抜き
村の歴史を知り尽す
久野 夢楽
箱入り娘
ロマンスもなく嫁に行く
近藤 正月



ステージを彩る輝く演技を披露

三好町文化祭芸能発表会

三好町文化祭芸能発表会が11月17日、サンアートで開催されました。舞踊や剣詩舞けんしまいなど11団体およそ120人が参加。家族での共演など、ほのぼのとした演技も見られ、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。また観客席からは、出演者の名前が呼び掛けられるなど盛んに拍手が送られ、最後まで会場が一体となったステージを展開。ダンスを発表した女の子は「緊張したけど、とても楽しく踊れました」と満足そうでした。



和食の奥深さを実感

ステップアップスクール

「再発見！ 和のこころ」をテーマに全3回開かれたステップアップスクール。最終回となる「歴史からみる和食の心と作法」が11月22日、サンアートで行われました。フードコーディネーターの高見ゆみ子さんを講師に迎え、51人が参加したこの講座。和食の歴史の話や聴いたり、食べ方の作法を実践したりして、幅広い和食の魅力に関心を深めていました。女性の一人は「作法など和食は奥が深いですね」と実感していました。



木の豊かな成長を手助け

梅せん定講習会

梅せん定講習会が11月28日、筋生梅ノ里で行われました。あざぶ梅栽培振興協議会の会員23人が参加。営農専門技術員の小野信行さんからの枝を切ればよいのか、実演を交えた説明を受けました。小野さんは「自分でイメージを持つて楽しんでやってみることが大事」とアドバイスを。また会員がせん定した木の批評も行いました。男性は「どの枝を切るか迷いますが、思い切ってやります」と早速せん定に取り掛かっていました。



子どもたちの経験を共に生かす

キャリア教育研究発表会(三好中学校)

生徒が職場体験で学んだことを、社会全体で考えて生かそうと11月21日、三好中学校でキャリア教育研究発表会が開かれました。職場体験に協力した事業者などおよそ200人が参加。公開授業を見学した後、教員による研究成果の発表と、国立教育政策研究所の滝充つとむさんの講演が行われ、皆真剣に聴き入っていました。なお、三好中学校は、キャリア教育の充実発展に尽力したことがたたえられ、文部科学大臣から表彰を受けました。



大胆で楽しい料理

世界の食卓「イタリア編」

食文化を通して外国のこともっと知ってもらおうと世界の食卓「イタリア編」が11月17日、中央公民館で行われました。イタリア出身の池田チンツィアさんが、参加者16人に鶏肉のカツチャトーラなど3品を手ほどき。「見た目よりおいしさにこだわるといふ調理法を明るく陽気に解説しました。参加者は、積極的に質問しながら和気あいあいと料理を実践。女性の一人は「豪快で大胆な作り方が楽しいです」と腕を振っていました。



生演奏の迫力に感動

思い出コンサート

町内の小学6年生と中学3年生を対象にした思い出コンサートが11月29日、コンサートで開かれました。NHK交響楽団友が最近のヒット曲を交えた素晴らしいクラシックを演奏。指揮者の田久保裕一たくぼゆういちさんによる曲のエピソードや楽器の紹介も行われました。また指揮者の体験コーナーでは、各校代表の个性的な指揮に会場は大盛り上がり。小学生の男の子は「生演奏の迫力はすごいです」とオーケストラの魅力に感動していました。

